

8月2日

「だんじり囃子ワークショップ」

和歌山県の無形民俗文化財で紀州三大祭のひとつ、粉河祭に欠かせないだんじり囃子を次の世代につないでいこうと活動している「粉河車楽(しゃらく)ラブ」が模範演奏を披露します。いっしょに和太鼓でだんじり囃子を叩いてみませんか？講師はだんじりの髭籠(ひげこ)製作者でもある川西弘文さんです。



8月9日

「だんじり浪漫—その歴史と価値」

粉河祭のだんじりの起源は定かではありません。そこで、文献から江戸時代の姿を想像し、講師の藪下敦朗さんが祖父から聞いた明治・大正の餅花運行の様子を古写真でふりかえります。また、もう一人の講師、小畑雅行さんが戦前から引き継がれた多彩な提灯や豪華な刺繍幕の価値について話します。



8月23日

「渡御式は奈良時代の凱進行列」

粉河祭の本祭「渡御式(とぎよしき)」は奈良時代に豪族の大伴船主が坂上田村麻呂の奥州征伐で軍功をたて、凱旋した時の行列を再現したものです。2年に1度、古式ゆかしい装束をまとった行列が粉河産土(うぶすな)神社から粉河小学校の校庭にあるお旅所まで歩きます。そんな粉河祭の起源や今も伝わる渡御式の作法などについて、紀州語り部の増田博さんがお話します。



8月30日

「粉河祭ブレイクストーミング」

とんまか通り商店街に今年も11月8日(日)、オープンカフェを出店するなど、街づくりに参画している粉河高校KOKO塾の生徒たちと、地元住民が粉河祭の魅力について語り合います。また、少子高齢化でだんじりの運行を担う若者が減り、アルバイトを雇わなければいけない地区が多くなるなど直面する課題についてもみんなで解決策を探ります。

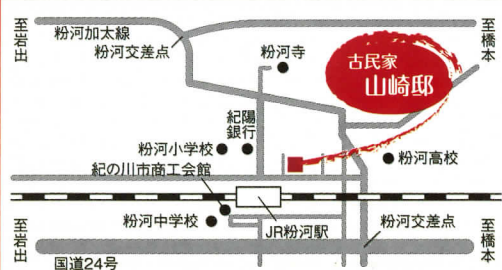


至 粉河祭 は紀州の宝 至

土曜講座

13時30分〜15時30分

築百年の古民家・山崎邸で、農業とふれあう企画や、粉河地域の街おこしの取り組みが始まっています。門前町として栄えた歴史や文化を守りながら地域を発展させたい。そんな想いがエネルギーです。「ふれあい寺子屋」は地域の魅力を再発見する週1回の学びの遊び場です。



【主催】
紀の川福祉コミュニティ農園
【問い合わせ先】
妻の郷 紀の川・岩出地域生活支援センター
☎0736-67-7080
山崎邸内 創(はじめ)カフェ
☎0736-60-8233
☆駐車場が近くにありません。公共交通機関をご利用ください